

令和7年度 佐賀市立金立小学校 校内研究 プチ講話 その1

「授業づくりのステップ1,2,3」について

いつでも！どこでも！だれでも使える！
授業づくりのステップ 1・2・3 Vol.1

平成29年2月 佐賀県教育委員会

このリーフレットは、本校が実施している「授業づくり」に向け、佐賀県の先生方の授業がよりステップアップできるように活用していただくために作成しました。

それぞれの先生方が、子どもたち一人ひとりの「わかるたい」、「できるようにしたい」という思いや願いを大切にしながら、日々の授業を振り返るとともに、授業をさらにステップアップさせることで、子どもたちの「学ぶ力」をより一層向上させることができます。

全ての小中学校の先生方の全ての授業において、子どもたちにとってわかりやすい授業、力の付く授業を目指していきましょう。

使えるポイント その1

- 授業の前に、教材研究に取り組み時に、指導案をつくる時に、いつでも使えます。
- いつでも使えます！
- どこでも使えます！
- だれでも使えます！

経験豊富な先生も、若手の先生も、だれでも使えます。

使えるポイント その2

日々の授業づくりにおける大切な事項の中から、「**めあて**」、「**ききめ**」、「**書く活動**」、「**話し合う活動**」、「**振り返り**」の5つに焦点をあて、それぞれについて3つのステップで示しています。

今日の授業はどのステップなのか、チェックしてみましょう。

- ステップ1** 佐賀県の多くの先生方が、すでに実践していると考えられるステップです。
- ステップ2** 佐賀県のスタンダードとして、全ての先生方に実践してほしいと考えられるステップです。
- ステップ3** ステップ2を實踐している先生方に、次に目指してほしいと考えられるステップです。

いつでも！どこでも！だれでも使える！
授業づくりのステップ 1・2・3 Vol.2

平成30年2月 佐賀県教育委員会

このリーフレットは、「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.1」と連携し、「自分の考えをつくらせたい」や「自分の考えを伝えたい」などの意図をもち、子どもたちの「書く活動」や「話し合う活動」を推進し、全ての小中学校の先生方の全ての授業において、子どもたちにとってわかりやすい授業、力の付く授業を目指していきましょう。

「書く活動」

教師の主な役割は…

子ども一人一人が自分の考えをもつことができるように、「書く活動」をコーディネートすること！

ここでの「書く活動」は…

授業の中で子ども一人一人が自分の考えをもつための場であり、主に個人で思考し、ノートなどにまとめることを指します。

「書く活動」を取り入れる目的は…

自分の考えを整理するため、考えたことについて話し合う準備のため、自分の考えを表現するためなど様々です。

「話し合う活動」

教師の主な役割は…

子どもが考えを広げたり深めたりすることができるように、「話し合う活動」をコーディネートすること！

ここでの「話し合う活動」は…

授業の中で子どもが考えを広げたり深めたりするための場であり、主に少人数や学級全体などで思考し、学習内容のまとめに活かす活動のことです。

「話し合う活動」を取り入れる目的は…

考えを出し合い、認め合いながら、それらに反論し、共通点や相違点を検討し合うことなどを通して、考えを広げたり深めたりするためです。

令和7年4月9日（水）
佐賀市立金立小学校

いつでも！どこでも！だれでも使える！
授業づくりのステップ 1・2・3 Vol.1

平成29年2月 佐賀県教育委員会

このリーフレットは、子どもたちにとってわかりやすい「授業づくり」に向け、佐賀県の先生方の授業がよりステップアップできるように活用していただくために作成しました。

それぞれの先生方が、子どもたち一人ひとりの「わかるたい」、「できるようにしたい」という思いや願いを大切にしながら、日々の授業を振り返るとともに、授業をさらにステップアップさせることで、子どもたちの「学ぶ力」をより一層向上させることができます。

全ての小中学校の先生方の全ての授業において、子どもたちにとってわかりやすい授業、力の付く授業を目指していきましょう。

使えるポイント その1

- 授業の前に、教材研究に取り組み時に、指導案をつくる時に、いつでも使えます。
- いつでも使えます！
- どこでも使えます！
- だれでも使えます！

経験豊富な先生も、若手の先生も、だれでも使えます。

使えるポイント その2

日々の授業づくりにおける大切な事項の中から、「**めあて**」、「**ききめ**」、「**書く活動**」、「**話し合う活動**」、「**振り返り**」の5つに焦点をあて、それぞれについて3つのステップで示しています。

今日の授業はどのステップなのか、チェックしてみましょう。

- ステップ1** 佐賀県の多くの先生方が、すでに実践していると考えられるステップです。
- ステップ2** 佐賀県のスタンダードとして、全ての先生方に実践してほしいと考えられるステップです。
- ステップ3** ステップ2を實踐している先生方に、次に目指してほしいと考えられるステップです。

いつでも！どこでも！だれでも使える！
授業づくりのステップ 1・2・3 Vol.2

平成30年2月 佐賀県教育委員会

このリーフレットは、「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.1」に連携した「日々の授業づくりにおける大切な事項」のうち、「**書く活動**」と「**話し合う活動**」に焦点をあて、それぞれにおける教師の主な役割等を示しています。

本リーフレットを活用し、全ての小中学校の先生方の全ての授業において、子どもたちにとってわかりやすい授業、力の付く授業を目指していきましょう。

「書く活動」

教師の主な役割は…

子ども一人一人が自分の考えをもつことができるように、「書く活動」をコーディネートすること！

ここでの「書く活動」は…

授業の中で子ども一人一人が自分の考えをもつための場であり、主に個人で思考し、ノートなどにまとめることを指します。

「書く活動」を取り入れる目的は…

自分の考えを整理するため、考えたことについて話し合う準備のため、自分の考えを表現するためなど様々です。

「話し合う活動」

教師の主な役割は…

子どもが考えを広げたり深めたりすることができるように、「話し合う活動」をコーディネートすること！

ここでの「話し合う活動」は…

授業の中で子どもが考えを広げたり深めたりするための場であり、主に少人数や学級全体などで思考し、学習内容のまとめに活かす活動のことです。

「話し合う活動」を取り入れる目的は…

考えを出し合い、認め合いながら、それらに反論し、共通点や相違点を検討し合うことなどを通して、考えを広げたり深めたりするためです。

授業づくりのステップ
1・2・3

このブチ講話の内容

1. 授業づくりのステップ1・2・3 のコンセプト
2. 授業づくりのステップ1・2・3 Vol2.の作成経緯
3. 授業づくりのステップ1・2・3を活用した授業改善

授業づくりのステップ 1・2・3 のコンセプト

- 子どもの「分かりたい」「できるようになりたい」に応える
- 佐賀県の全ての先生方のスタンダードを共有
- 佐賀県の全ての先生方の実情に応じたステップアップをサポート
- 授業の不断の見直しと質的改善を図るツールとして
- 学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」に対応

5つのポイントについて、3つのステップ

		ステップ1	ステップ2	ステップ3
◇めあて		示す	子どもの理解	具体的なイメージ
◇まとめ		板書する	「めあて」に対応	子どもがまとめる
◆書く活動		(必要に応じて) 取り入れる	目的や書き方等を示す	子ども自身が見直す
◆話し合 う活動	少人数	(必要に応じて) 取り入れる	目的や進め方等を示す	意欲的な話し合い
	学級 全体	学級全体で共有する	考えをつなぐ、交流	観点で整理する
◇振り返り		行う	振り返る内容を提示する	視点や基準を提示する

「授業の質的改善」の根拠となる学習指導要領の記述

現行の学習指導要領においては、**総則**で「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」について規定するとともに、**各教科等の「指導計画作成上の配慮事項」**として、このような授業改善を図るために、これまでも規定していた指導上の工夫を整理して規定している。

小学校学習指導要領

第1章 総則

第3 教育課程の実施と学習評価

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

各教科等の指導に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 第1の3の(1)から(3)までに示すことが偏りなく実現されるよう、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、児童の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと。

特に、各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力、人間性等を発揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方（以下「見方・考え方」という。）が鍛えられていくことに留意し、児童が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。

「主体的・対話的で深い学び」に対応 その1

「主体的な学び」とは

- ・興味・関心 ・自己のキャリア形成との関連付け
- 学習課題を生徒が「自分ごと」にする工夫

Ex. 生活との関連、生徒の興味との関連、クイズ的要素、揺さぶり、生徒の疑問

見通し → 粘り強く取り組む → 振り返り → 次につなげる
 1単位時間 1単位時間
 単元・題材のスパン 単元・題材のスパン
 評価の基本は自己評価

「主体的・対話的で深い学び」に対応 その2

「対話的な学び」とは

- ・子ども同士の協働 ・教職員や地域の人との対話 ・先哲の考え方

などを手がかりにして

自らの考えを広げ、深めることができるか？

→学習形態の工夫、教科の特質に応じた言語活動、ICTの効果的な活用
 まとめ、振り返り、言語活動を促す学習集団づくり(支持的風土の醸成)

「主体的・対話的で深い学び」に対応 その3

「深い学び」とは

- 習得・活用・探究という学びの過程の中で
- 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせて
- 知識を相互に関連付ける → より深く理解する
- 情報を精査する → 考えを形成する
- 問題を見いだす → 解決策を考える（問題発見・解決）
- 思いや考えを基に → 創造する

→ 新たな問い 問題解決的な学習から探究的な学習へ

5つのポイントには盛り込まれなかったけど、大切なこと

授業づくりの重要なポイント

授業づくりにおいて重要なポイントはたくさんありますが、以下のようなことは、特に大切にしたい事柄です。日々の授業はどうか、チェック回してみましょう。

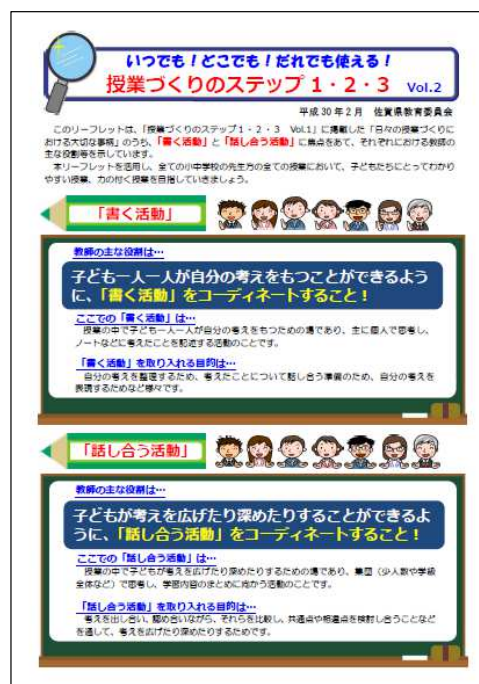
- ☐ 話し方や聞き方のルールなど、学習規律の定着を図り、落ち着いて学習に取り組める「環境づくり」に配慮していますか？
- ☐ 学習活動を適切に時間配分するなど、1時間の中で、「振り返り」まで効果的に指導できるよう「タイムマネジメント」に留意していますか？
- ☐ 子どもができる部分は任せるなど、教師が出すぎないように留意していますか？
- ☐ 1時間の学習内容や子どもたちの考えの共通点、相違点、関連などが一目でわかるように、「意図的・計画的な板書」を心がけていますか？
- ☐ 授業の中で、何を、どのような順番で行うのか、1時間の学習活動の見通しが具体的にわかるよう、「学習の流れ」を黒板に示すなど配慮していますか？
- ☐ 授業の予習や復習を宿題にするなど、「授業と家庭学習のつながり」を意識した授業づくりを行っていますか？

- 学習規律と環境づくり
- 授業のタイムマネジメント
- 子どもの主体性の担保
- 意図的・計画的な板書
- 学習の流れの提示
- 授業と家庭学習のつながり

授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2 作成の経緯

- ◆Vol.1を作成する過程で、言語活動の核となる「書く活動」と「話し合う活動」についてはもっと詳しく発信する必要があるという思い
- ◆Vol.1をいろいろな方に活用していただく中での意見として、
 - 「話し合う活動」が難しい。
 - 「書く活動」「話し合う活動」のことをもっと具体的に知りたい。

などのご意見、ご要望あり。



授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2

Vol.1の **■ステップ** ごとに、

そのねらいや指導の具体、言葉かけの例などを示すことで、先生方の理解を深めてもらうようにしました。

また、**大切なポイント**では、その他の大切なことや教師が配慮すること、発展的なことなどを厳選して示しました。



「書く活動」「話し合う活動」が
児童にとって意味ある学習活動になるための3つのポイント

- モチベーション(意欲)
 - ・やることに必然性はあるのか
 - ・やりたいという意欲を喚起しているか
- スキル(技能)
 - ・やり方は分かってるのか
 - ・やり方について指導しているか
- コンテンツ(内容)
 - ・児童にとって意味のある内容か
 - ・児童にとって魅力ある内容にしているか
 - ・目標、めあてに沿った内容であるか



キーワードは「やりたい、やれそう、やってよかった」

「授業づくりのステップ1・2・3」を活用した授業改善

【5つのポイント】

- ◆ 自らの課題を洗い出すときの視点として
- ◆ ペア研における自分の授業の自己評価や参観する教師による他者評価の観点として

【3つのステップ】

- ◆ 授業の質的改善の具体の姿として
- ◆ 自らの課題解決の方向性として



金立小 校内研究の取組における確認事項

- 「めあて」「まとめ」「書く活動」「話し合う活動」「振り返り」の5つのポイントについては必ず全ての教師が取り組む。
- 自らの課題設定に応じて、取組に軽重があることはよい。
- 各ポイントのステップも参考にしながら、自ら現状を把握し、それぞれの取組の質的改善に努める。
- 「書く活動」「話し合う活動」についてはVol2も参考にして質的改善に努める。